

第2学年国語科学習指導案

指導期間 平成14年9月12日～9月26日
指導学級 石鳥谷町立石鳥谷小学校
2年2組 男子20名 女子20名 計40名
指導者 上野尚子（長期研修生）

- 1 単元名 「だいじなところに 気をつけて読もう」
教材名 サンゴの海の生きものたち（光村図書「こくご二年(上)」）

2 教材について

(1) 教材について

日ごろなじみ深くはない海の中の共生について述べた説明的文章である。生き物のかかわり方について、「見てみたいな。」「不思議だな。」「そうだったのか。」のような感想をもち、説明の順序に気をつけながら大事なところに気をつけて読むことをねらった教材である。教材文とともに鮮明な写真が使われており、書かれている情報を十分に補い、学習活動を進める上で役立つ。

読み取った後は登場した生きものになって、かかわり合っている相手にお礼の手紙を書く学習を行う。さらに、生き物についての読み物に興味をもってそれに関する本を読む活動へとつなげる。

(2) 児童について

二年上の「たんぼぼのちえ」ではじめて知ったことや不思議だと思ったことを話し合う学習をしてきたが、この単元では発表する学習を行う。また、「たんぼぼのちえ」では時間的な順序に気をつけて読むことを学習してきたが、この単元では生きものの違いに応じた共生の方法を順序立てて説明した文章を読む学習をする。二年上の「お手紙こうかん会」で、尋ねたいことや教えたいことを書く学習をしているが、お礼という内容で書く学習はこの学習が初めてである。

(3) 指導にあたって

実際に自分たちが海の中の生きものになって話したり、書いたりしながら学習を進めていく。「たがいに、やくに立つようにかかわり合っている」を受けての展開となるが、たがいにどんなかかわり合いをしているのかを読み取る中で「どうしてそうなるのか。」と好奇心をかき立てながら新しい知識に触れさせていくようにしたい。それによって、ほかの生きものについての興味関心へとつなげたい。

3 単元の目標

(1) 国語への関心・意欲・態度

- ・生きものたちのくらしに興味をもち、楽しんで読もうとする。

(2) 話すこと・聞くこと

- ・「サンゴの海の生きものたち」を読んで、初めて知ったこと、不思議だと思ったこと、見てみたいと思った生きものなどを発表する。

(3) 書くこと

- ・登場した生きものになって、かかわり合っている相手にお礼の手紙を書くことができる。

(4) 読むこと

- ・生きもののかかわり方について、説明の順序に気をつけながら大体を読み、「見てみたいな」「不思議だな」「そうだったのか」のような感想をもち、読む。
- ・生き物についての読み物に興味をもち、読む。

(5) 言語事項

- ・敬体で書かれた文章の文末表現に注意して読む。

4 単元の指導計画

- (1) 初発の感想を書き、学習のめあてを確かめる。(2時間)
- (2) サンゴの海の生きもののかかわり合いを読み取る。(5時間)
- (3) サンゴの海の生きものになってかかわり合っている相手にお礼のカードを書く。(1時間)
- (4) 生きものについての本を読み、紹介する。(3時間)

単元名 (六 だいじなところに気をつけて読もう 「サンゴの海の生きものたち」) 指導時数 (11 時間)

本時の指導 (1 時間目)

(1) 目標

- 「サンゴ海の生きものたち」を読んで、初発の感想を書くことができる。

(2) 展開

段階	学習活動及び内容	教師の働きかけ・支援策 〈めざす児童の姿〉	児童の活動	個々の思考を助ける書く活動 〈ねらい〉	評価規準 【関連】
導入 10分	1 写真から題名の「サンゴの海」についてイメージをもたせる。 2 学習課題を知る。 はじめて読んだかんそうをまとめよう。	・「サンゴの海」で知っていることを話させる。 ・写真を見せ、興味をもたせる。 〈写真や今までの知識をもとに話す。〉	話す 聞く	・課題を書く。(A-2) 〈学習への課題意識をもたせる。〉	・写真からイメージを広げる。 【「サンゴ海」をイメージさせることにより、今後の学習への期待感をもたせる。】
展開 30分	3 P74 のリード文を読み、読みの視点を確認する。 4 感想を書く視点を知り、全文を通読する。 5 感想を書く。 6 感想を発表する。	・P80 の上段を読み、感想を書く視点を確認し、黒板にまとめる。 〈・はじめてしたこと ・ふしぎだなと思ったこと ・見てみたいと思った生きもの〉 ・新しい漢字に気をつけながら教師の範読を聞かせる。 〈書くことにした生きものを決める。〉 ・書いた後にはよく読み返し間違いを直させる。その後となりどうし読み合わせ一言感想を書かせる。	読む 聞く 聞く 読む 書く 読む	・何についての感想を書くか、生きもの の名前を書く。(A-1) 〈何について書くかをしっかり決めて、 それについての感想を書かせる。〉 ・初発の感想を書く。 ・友だちの感想に一言書く。(B-1) 〈自信をもって感想を発表できる。〉	【「たんぼのちえ」の学習の時の感想を振り返る。】 ・初めて知ったこと、不思議だなと思ったこと、見てみたいと思った生きものについて感想を書く。 【単元の指導過程のなかで、本時に書いた感想を振り返らせ、生かしながら学習活動を進めていくように配慮する。】
終末 5分	7 本時を振り返る。 8 次時の学習内容を知る。	・がんばったことを中心に感想を発表させる。 ・この単元の学習の見通しを持つ時間であることを知らせる。	書く 話す 聞く	・学習の反省を書く。(C-1) 〈自分のがんばりを確認する。〉	

(3) 評価

- 「サンゴ海の生きものたち」を読んで、初発の感想を書くことができたか。(ノート)

単元名（ 六 だいじなところに気をつけて読もう 「サンゴの海の生きものたち」 ） 指導時数（ 11 時間 ）

本時の指導（ 2 時間目）

（1）目標

- ・ 「サンゴ海の生きものたち」を読んで、学習のめあてを知り、かかわりあう魚たちを確かめることができる。

（2）展開

段階	学習活動及び内容	教師の働きかけ・支援策 ＜めざす児童の姿＞	児童の活動	個々の思考を助ける書く活動 ＜ねらい＞	評価規準 【関連】	
導入 10分	1 前時の感想に書いた生き物を想起し、出てくる名前を書き、確認する。 2 学習課題を知る。 <table border="1" style="width: 100%;"><tr><td>これからの学しゅうのめあてを知ろう。</td></tr></table>	これからの学しゅうのめあてを知ろう。	・この文章では生きもののが名前が片仮名で書かれてあることに気付かせ、自分の感想に書いた生きもの名前を正しく書かせる。 ＜片仮名を正しく書く。＞	書く	・生きもの名前を書く。(A-1) ＜この文章に出てくる生き物を確認し、5の活動に役立てる。＞ ・課題を書く。(A-1) ＜学習への課題意識をもたせる。＞	【二年下「かたかなで書くことば」動植物名を片仮名で書くこともあることを知らせる。】 ・片仮名で書かれた生きもの名前を正しく丁寧に書く。 【書写 9月「かたかなのひょう」との関連】
これからの学しゅうのめあてを知ろう。						
展開 30分	3 P74を音読する。 4 P74を言葉に気をつけて読みとり、この単元の学習のめあてを確認する。(一斉読) 5 どんな生き物たちがかかわり合っているのか考える。	・口をあげ、はっきりと読むように指示する。 ・どこのことが書いてあるか。(場面) ・サンゴの海にすむどんな生き物について書いた文章なのか。 ・互いに役に立つようにかかわりあっているというのはどんなことなのか。 ・P74の8,9行目の問いかけの文から、学習のめあてを確認する。 ＜サンゴの海では、どんな生きものたちが、どんなかかわり合いをしているのでしょうか。＞ ・かかわりあっているのは何と何なのかを、前時に書いた感想をもとにしても考えさせる。 ＜・イソギンチャクとクマノミ。 ・ホンソメワケベラと大きい魚たち。＞	読む 書く 書く 読む 書く	・場面を囲む。(A-2) ・問いが書かれてあるところに線を引く。(A-2) ＜海の中のイメージをもたせる。＞ ・P74の8,9行目を視写する。(B-1) ＜読みの視点を確認し、これからの学習への課題意識をもたせる。＞ ・写真や本文を参考にして何と何がかわっているのか書く。(A-2) ＜次時からの学習の視点をはっきりさせる。＞	・口形に注意して、はっきりした発音で読んでいる。 【「たんぽぽのちえ」の問いかけの文P24を想起させる。】 ・互いに役に立つようにかかわりあっているのは何と何なのかを確かめる。 【どんな生きものがかわりあっているのかを確認し、これからの学習の見通しを持たせる。】 ・生きもの名前を片仮名で丁寧に書く。	
終末 5分	6 感想を発表する。 7 次時の学習内容を知る。	・授業を振り返り、これからの学習についての期待を発表させる。 ・イソギンチャクとクマノミの体の特徴について学習することを知らせる。	書く 話す 聞く	・これからの学習で楽しみなことを書く。(C-1) ＜次の学習への期待感をもたせる。＞	・次時への期待をもつ。	

（3）評価

- ・ 「サンゴ海の生きものたち」を読んで、学習のめあてを知り、かかわりあう魚たちを書くことができたか。(ノート)

単元名（ 六 だいじなところに気をつけて読もう 「サンゴの海の生きものたち」 ） 指導時数（ 11 時間 ）

本時の指導（ 3 時間目）

(1) 目標

- ・ イソギンチャクとクマノミの体の特徴を読み取ることができる。

(2) 展開

段階	学習活動及び内容	教師の働きかけ・支援策 〈めざす児童の姿〉	児童の活動	個々の思考を助ける書く活動 〈ねらい〉	評価規準 【関連】
導入 10分	1 前時に確認した学習のめあてを確認する。 2 学習課題を知る。 イソギンチャクとクマノミはどんな生きものかを読みとろう。	〈サンゴの海では、どんな生きものたちが、どんななかわり合いをしているのでしょうか。〉 ・本時に読み取る生きものはなにかを確認する。	読む	・課題を書く。(A-1) 〈学習への課題意識をもたせる。〉	・片仮名を正しく書く。
展開 30分	3 学習場面を音読する。(P76L1からP77L10まで) 4 P76L10までを読み、イソギンチャクはどんな生きものかを読み取る。 5 クマノミはどんな生きものか、なぜイソギンチャクに刺されないのかを読み取る。	・学習のめあてに気をつけながら学習場面を音読させる。 ・イソギンチャクについて書かれてあるところに直線、クマノミについて書かれてあるところに波線を引かせる。 ・イソギンチャクの特徴を書く。 〈細長いたくさんのしよく手にはどくのほりがあり、これで、小さなどうぶつをつかまえて食べる。〉 ・イソギンチャクに刺されるとどうなるか。大変なことの意味を考えさせる。 〈食べられる。死んでしまう。〉 ・クマノミはどんな生きものか。 〈クマノミの体は、ねばねばしたえきで、おおわれています。〉	読む 読む 書く 読む	・イソギンチャクについて書かれてあるところに直線、クマノミについて書かれてあるところに波線を引く。(A-2) 〈どちらの特徴なのかが分かるように。〉 ・特徴を表す大事な言葉を抜き書きさせる。(B-1) 〈特徴をうまく文章表現できない子のために、文にする前に単語だけでもださせる。〉	・口形に注意して、はっきりした発音で読んでいる。 ・イソギンチャクの特徴を書くことができる。 【クマノミはイソギンチャクに刺されないことを確認し、次時のかかわり合いの学習に生かす。】
終末 5分	6 本時の学習をふり返る。 7 次時の学習内容を知る。	・小テストをする。 ・イソギンチャクとクマノミの関わり合いを学習することを知らせる。	書く 聞く	・学習の成果を確かめる。(C-1)	・次時への期待をもつ。

(3) 評価

- ・ イソギンチャクとクマノミの体の特徴を読み取ることができたか。(ノート)

単元名（ 六 だいじなところに気をつけて読もう 「サンゴの海の生きものたち」 ） 指導時数（ 11 時間 ）

本時の指導（ 5 時間目）

(1) 目標

- ・ イソギンチャクとクマノミのかかわりを読み取ることができる。

(2) 展開

段階	学習活動及び内容	教師の働きかけ・支援策 〈めざす児童の姿〉	児童の活動	個々の思考を助ける書く活動 〈ねらい〉	評価規準 【関連】
導入 5分	1 前時に書いた吹き出しを見て、学習を想起させる。 2 学習課題を知る。 クマノミとイソギンチャクとのかかわり合いをまとめよう。	・前時はクマノミの立場から読み取ったが、本時はイソギンチャクの立場から読み取る学習であることを知らせる。	読む 書く	・課題を書く。(A-1) 〈学習への課題意識をもたせる。〉	
展開 35分	3 学習場面を音読する。(P76L11 からP77L10 まで) 4 なぜクマノミはイソギンチャクの中にいるのかを、イソギンチャクの立場から読み取る。 5 クマノミとイソギンチャクの関係をまとめる。	・学習の課題に気をつけながら全文を通読する。 ・P77L4からL10 までの文章の中に出てくる生きものを確認する。 〈イソギンチャクを食べる魚。クマノミ。イソギンチャク。〉 ・イソギンチャクにとっていいことは何かを考えさせる。 ・生き物の関係を黒板に位置関係でも表し、確かに読み取らせるように配慮する。 ・どんなかかわりをしているか、書かれているところに線を引かせる。 〈イソギンチャクとクマノミは、たがいにまもりあっているのです。〉 ・「たがいに」の意味を確認する。 ・まもり合うとはどういうことを言うのかを確認する。 〈二つの生き物についての関係を理解させる。〉	読む 書く 書く 話す 書く	・理由がわかるところを書く。(A-2) 〈書きながら考える子にはそのまま視写させるが、自分の言葉で書かせることで、内容を理解させる。〉 ・イソギンチャクとクマノミのかかわり合いをまとめているところに線を引く。(A-2) 〈この文章の大事な内容なので、しっかりと理解させる。〉 〈どんなことを意味しているのか、考えさせる。〉	・口形に注意して、はっきりした発音で読んでいる。 ・イソギンチャクとクマノミのかかわり合いが読み取れている。 【「たがいに、まもり合っているのです。」というのが次の生き物ではどうか比較させる。】
終末 5分	6 本時をふり返る。 7 次時の学習内容を知る。	・小テストをする。 ・ホンソメワケベラと、大きな魚とのかかわり合いを学習することを知らせる。	書く 話す 聞く	・学習の成果を確かめる。(C-1) 〈イソギンチャクの立場からクマノミと一緒にいるとよいことをわからせる〉	・次時への期待をもつ。

(3) 評価

- ・ イソギンチャクとクマノミのかかわりを読み取ることができたか。(ノート・発言)

単元名 (六 だいじなところに気をつけて読もう 「サンゴの海の生きものたち」)

指導時数 (11 時間)

本時の指導 (6 時間目)

(1) 目標

- ・ ホンソメワケベラがなぜ大きな魚に食べられないのか理由を読み取ることができる。

(2) 展開

段階	学習活動及び内容	教師の働きかけ・支援策 〈めざす児童の姿〉	児童の活動	個々の思考を助ける書く活動 〈ねらい〉	評価規準 【関連】
導入 5分	1 写真を見て本時に学習する生き物を確認する。 2 学習課題を知る。 なぜホンソメワケベラは大きな魚に食べられないのか。	・それぞれが何なのか確認する。 ・初発の感想や写真を見た感想を発表させ、課題へとつなげる。	話す 書く	・課題を書く。(A-1) 〈学習への課題意識をもたせる。〉	【初発の感想の中にホンソメワケベラの不思議なことを書いていたものを紹介し、本時の課題へとつなげる。】
展開 33分	3 学習場面を音読する。(P77L11 からP79L7まで) 一斉読・指名読 4 ホンソメワケベラはどんな生き物なのか特徴を読み取る。 5 なぜ、ホンソメワケベラは大きな魚に食べられないのか。	・学習の課題に気をつけながら学習場面を音読させる。 ・ホンソメワケベラの体の様子を書いている部分に線を引かせる。 〈明るい青色の体に、頭からしっぽにかけて黒いすじが一本あります。体の長さは、十二センチメートルほどです。〉 ・ホンソメワケベラについて感想を出させる。 ・写真を見て、普通だったらどうなるかを考えさせ、「でも、食べられることはありません。」の意味をとらえさせる。 ・わかるところに線を引かせる。 〈大きな魚たちは、体や口の中にいた虫を、ホンソメワケベラがとってきれいにしてくれるのを知っているからです。〉 ・そのことは、誰にとってよいことか。 〈大きな魚。〉 ・大きな魚になって、ホンソメワケベラにお話をしてみようと思わせる。	読む 書く 話す 読む 書く 話す	・ホンソメワケベラの体の様子を書いてあるところに線を引く。(A-2) 〈体の特徴から、感想をもたせる。〉 ・理由が書いてある文を視写する。(B-1) 〈理由を書くときには「～からです。」という言い方をすることを抑える。〉 ・大きな魚の気持ちも、ホンソメワケベラに話をするように吹き出しに書く。(B-1)	・口形に注意して、はっきりした発音で読んでいる。 【「たんぽぽのちえ」で学習した表現を振り返る。】 ・ホンソメワケベラが大きな魚に食べられないゆけを読み取る。
終末 7分	6 学習をふり返る。 7 次時の学習内容を知る。	・学習の成果をふり返り反省する。 ・ホンソメワケベラにとってよいことについて考えることを知らせ、どんな関係かを読み取る学習であることを知らせる。	書く	・学習の成果をふり返り、記号を書く。(C-2) 〈自分の学習成果を認める。〉	・次時への期待をもつ。

(3) 評価

- ・ ホンソメワケベラがなぜ大きな魚に食べられないのか理由を読み取ることができたか。(ノート・発言)

単元名 (六 だいじなところに気をつけて読もう 「サンゴの海の生きものたち」) 指導時数 (11 時間)

本時の指導 (7 時間目)

(1) 目標

- ・ ホンソメワケベラと大きな魚の関係をまとめることができる。

(2) 展開

段階	学習活動及び内容	教師の働きかけ・支援策 〈めざす児童の姿〉	児童の活動	個々の思考を助ける書く活動 〈ねらい〉	評価規準 【関連】
導入 5分	1 前時の学習を振り返る。 2 学習課題を知る。 ホンソメワケベラにとってよいことは何か。	・ ホンソメワケベラが大きな魚をきれいに掃除していたことを想起させる。 ・ 何についての学習するのかを意識させながら書かせる。	話す 書く	・ 課題を書く。(A-1) 〈学習への課題意識をもたせる。〉	
展開 35分	3 学習場面を音読する。(P77L11 からP79L7まで) 一斉読・指名読 4 ホンソメワケベラにとってよいことを読み取る。 5 ホンソメワケベラと大きな魚の関係をまとめる。	・ 学習の課題に気をつけながら学習場面を音読させる。 ・ P79L2~L7で、ホンソメワケベラについて書いている部分に線を引かせる。 〈ホンソメワケベラはそうじ魚とよばれています。でも、ただ、そうじをしているのはありません。ホンソメワケベラにとっては、そうじをしてとった虫が、食べものになるのです。〉 ・ P77の「こうして、イソギンチャクとクマノミは、たがいにまもり合っているのです。」のまとめを想起させまとめさせる。 〈こうしてホンソメワケベラと大きな魚は、たがいに、たすけ合っているのです。〉	読む 書く 話す 書く 話す	・ ホンソメワケベラについて書いてあるところに線を引く。(A-2) 〈ホンソメワケベラにとってよいことは何かを考えさせながら引かせる。〉 ・ ホンソメワケベラになって気持ちを吹き出しに書く。(B-1) 〈大きな魚の掃除をすることがホンソメワケベラにとってもいいことであることに気付かせる。〉 ・ ホンソメワケベラと大きな魚との関係を書く。(C-1) 〈本文にはまとめの文がないが、学習したこと生かして、自分の言葉で書き表させる。「こうして、・・・。」という書き表し方をヒントにする。〉	・ 口形に注意して、はっきりした発音で読んでいる。 【9時間目にお礼のカードを書くときの参考にさせる。】 ・ ホンソメワケベラと大きな魚との助け合いが読み取れている。 【イソギンチャクとクマノミのまとめの文を参考にしてお礼の文を書く。】
終末 5分	6 本時をふり返る。 7 次時の学習内容を知る。	・ 小テストをする。 ・ 今までの学習を振り返りかわりあっている生き物にお礼のカードを書く学習であることを知らせる。	書く 聞く	・ 学習の成果を確かめる。(C-1)	・ 次時への期待をもつ。

(3) 評価

- ・ ホンソメワケベラと大きな魚の関係をまとめることができたか。(ノート・発言)

単元名（ 六 だいじなところに気をつけて読もう 「サンゴの海の生きものたち」 ） 指導時数（ 11 時間 ）

本時の指導（ 8 時間目）

（1）目標

- ・ サンゴの海の生き物たちになって、かかわりあっている相手にお礼のカードを書く。

（2）展開

段階	学習活動及び内容	教師の働きかけ・支援策 ＜めざす児童の姿＞	児童の活動	個々の思考を助ける書く活動 ＜ねらい＞	評価規準 【関連】
導入 15分	<p>1 全文を音読する。</p> <p>2 サンゴの海の生きものたちのかかわり合いを振り返る。</p> <p>3 P79L8～L11を読み、生き物たちのかかわりをまとめる。</p> <p>4 学習課題を知る。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content;"> <p>サンゴの海の生きものになって、かかわり合っているあい手にお礼のカードを書こう。</p> </div>	<ul style="list-style-type: none"> ・ それまでの学習を振り返らせながら、全文を音読させる。 ・ 教材文に出てきた生き物のかかわり合いを確認する。 <p>＜イソギンチャク・クマノミ、ホンソメワケベラ・大きな魚＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ P74 の課題のまとめにあたることを確認する。 ・ なぜかかわり合っているのかを考えさせる。 <p>＜生きもののおちえ＞</p>	<p>読む</p> <p>話す</p> <p>書く</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 課題を書く。（A-1） <p>＜学習への課題意識をもたせる。＞</p>	<p>【「たんぽぽのおちえ」の学習を想起させる。】</p>
展開 20分	<p>5 P81 上段を読みカードの書きかたを確認する。</p> <p>6 生き物になった気持ちで、クマノミとイソギンチャク、あるいは大きな魚とホンソメワケベラに分かれてお礼のカードを書く。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 相手に何をしてもらい、どのようなよいことがあるのかを具体的に書くようにさせる。 ・ とおりどうしどちらの生き物になって書くか話し合い、決めさせて、書かせる。 ・ 書いた後にはお互いに交換して読み合い、感想を話させる。 ・ お互いに書き終わったら、違う生きものに対しても書くことを知らせる。 	<p>読む</p> <p>話す 書く 話す。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ ()さんへ、()より（A-2） ・ 生き物たちになって、かかわり合っている相手にお礼のカードを書く。（B-1） 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 口形に注意して、はっきりした発音で読んでいる。 ・ 立場をはっきりさせて、相手へのお礼が伝わるようにかけている。 <p>【それまでの学習で書いたノートをもとにして、かかわり合いを振り返りながら書かせる。】</p>
終末 10分	<p>7 学習を振り返り感想を発表する。</p> <p>8 次時の学習内容を知る。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ これまでの学習を振り返り、感想を発表する。 ・ いろいろな生き物について書いてある本を探して読む学習であることを知らせる。 	<p>書く</p> <p>話す 聞く</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 今までの学習を振り返り、感想をまとめて書く。（C-1） 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 次時への期待をもつ。

（3）評価

- ・ サンゴの海の生き物たちになって、かかわりあっている相手にお礼のカードを書くことができたか。（カード）

単元名（ 六 だいじなところに気をつけて読もう 「サンゴの海の生きものたち」 ） 指導時数（ 11 時間 ）

本時の指導（ 9 時間目）

(1) 目標

- ・ 図書室に行って生き物の本をさがして読むことで、読書に広げることができる。

(2) 展開

段階	学習活動及び内容	教師の働きかけ・支援策 〈めざす児童の姿〉	児童の活動	個々の思考を助ける書く活動 〈ねらい〉	評価規準 【関連】
導入 5分	1 まとめの文を読み、ほかの生き物に興味を向ける。 2 学習課題を知る。 生きものについて書かれた本を読もう。	・ まとめの一文「このように、サンゴのうつくしい海では、たくさんの生きものたちが、さまざまにかかわり合っています。」をよみ、ほかの生きものたちへの興味を向けさせる。	読む 書く	・ 課題を書く。(A-1) 〈学習への課題意識をもたせる。〉	
展開 35分	2 これからの学習の進め方を知る。 3 図書室で本を見つけ、読む。 4 感想を簡単にまとめる。	・ 図書室でおもしろそうだなと思う本を見つけて読んだ後には、どんなところがおもしろかったかを友達に知らせる学習をすることを知らせる。 ・ 一人1冊以上選べるように、図書室や近所の図書館などから本を用意しておく。 ・ 次時の学習に使えるカードを準備し、感想をまとめさせる。	聞く 読む 書く	・ 書名、書かれている生きものの名前を書く。(A-2) ・ 読んだ感想を書く (B-1)	【スイミーの学習のときにも読んだ本の紹介をしたことを想起させる。】 ・ 図書室で、自分にあった本を見つけることができている。 【次時にみんなに紹介するため、紹介する順に書くようなカードを準備する。】
終末 5分	6 学習を振り返り感想を発表する。 7 次時の学習内容を知る。	・ これまでの学習を振り返り、感想を発表する。 ・ 読んだ本と、おもしろかったことをみんなに紹介する学習をすることを知らせる。	話す 聞く		・ 次時への期待をもつ。

(3) 評価

- ・ 生き物の本をさがして読み、感想を書くことができたか。(カード)

単元名（ 六 だいじなところに気をつけて読もう 「サンゴの海の生きものたち」 ） 指導時数（ 11 時間 ）

本時の指導（ 10 時間目）

(1) 目標

- ・ 読んだ本の紹介をすることができる。

(2) 展開

段階	学習活動及び内容	教師の働きかけ・支援策 〈めざす児童の姿〉	児童の活動	個々の思考を助ける書く活動 〈ねらい〉	評価規準 【関連】
導入 5分	1 前時の学習を振り返る。 2 学習課題を知る。 読んだ本をしようかいしよう。	・ 図書室で本を読んだことを想起させ、本時はその本についてグループごとに発表し合うことを確認する。		・ 課題を書く。(A-1) 〈学習への課題意識をもたせる。〉	
展開 35分	3 読んだ本の紹介をする発表の仕方を確認する。 4 発表し合う。 5 発表の反省をする。	・ 発表の仕方を確認する。 ・ 各自発表練習をする。 ・ 聞いている児童には、発表の後で元気カードを書かせる。 ・ 話し方、聞き方はどうだったかを反省させる。	聞く 話す 聞く 書く 書く	・ 元気カードに友だちの発表への感想を書く。(C-2) ・ 評価項目について自己評価する。(C-2)	【「あったらいいな、こんなもの」の発表で気をつけることを確認したことを思い出させる。】 ・ 読んだ本のおもしろかったところが、よくわかるように紹介できている。 【友だちへの感想は、みんなに紹介することを知らせる。】
終末 5分	5 学習を振り返り感想を発表する。 6 次時の学習内容を知る。	・ これまでの学習を振り返り、感想を書かせる。 ・ 学習のまとめのテストをすることを知らせる。	話す 聞く		

(3) 評価

- ・ 読んだ本の紹介をすることができたか。(発表)
- ・ 友達の発表に感想をもつことができたか。(発言・ノート)

単元名（ 六 だいじなところに気をつけて読もう 「サンゴの海の生きものたち」 ） 指導時数（ 11 時間 ）

本時の指導（ 11 時間目）

（1）目標

- ・ これまでの学習をもとに、テスト問題に答えることができる。

（2）展開

段階	学習活動及び内容	教師の働きかけ・支援策 〈めざす児童の姿〉	児童の活動	個々の思考を助ける書く活動 〈ねらい〉	評価規準 【関連】
導入 5分	1 前時までの学習を振り返り、本時の学習課題を知る。 学しゅうのまとめをしよう。	・前時に発表した感想カードを張り出すなどして、今までの学習への達成感を味わわせ、本時の学習への意欲づけとする。	聞く		【前時までの学習を想起させる。】
展開 35分	2 テスト問題を解く。	・名前を丁寧に書かせ、よく読んでから答えるように指示する。	聞く 書く	・テスト問題を解く。	・テスト問題を読んで、問題に答えている。
終末 5分	3 次時の学習内容を知る。	・教科書P82の「ことばあそび」の学習をすることを知らせる。	聞く		

（3）評価

- ・ テスト問題をよく読み、よく考えて問題を解くことができたか。（テスト問題）